

「猛暑時や厳寒期における服装等」のしおり

猛暑時（6月から9月頃まで）や厳寒期（12月から2月下旬頃まで）の児童の服装や持ち物について、以下の点をお願いします。学校が集団による学習の場であるという観点から、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

<猛暑時(6月～9月頃)>

1 持ち込み・着用を認めるもの

- 首に巻くリング状の冷却剤や保冷剤
※ 学校では冷却できませんので、登校時の効果に期待できます。安全性については、「皮膚のかぶれ等はないか」、「破損していないか」等について、使用前に必ず確認してください。
- 水分を含ませることで、冷却効果のあるタオル系のもの
- 日傘 ※ 帽子は必ず着用します。
- 水筒…中身は基本的に「お茶、麦茶、水」が望ましいですが、体調や運動量、天候等の状況によっては、（甘すぎない）スポーツドリンクでもかまいません。
※ できるだけ保冷効果のある水筒の使用をお願いします。

2 持ち込み・着用を認めないもの

- 携帯用のファンなど、電気や電池を動力とするもの
- タブレットや塩飴等の食品



<厳寒期(12月～2月下旬)>

1 服装について

- 厳寒期においては、長ズボン着用で過ごしてもかまいません。
（女子は、ズボン着用時はスカートを着用しない。）
- 校内の上衣の基本は「紺のブレザー」です。登下校時以外は、肌着、アンダーウェア、ブレザーの下に着用してよい衣服で防寒をします。
- 時期を問わず、体調管理のためにタイツ、レギンス、スパッツ等を着用して過ごしてもかまいません。
- 体育の授業では、体が温まるまで、トレーナーやジャンパーを着用してもかまいません。また、朝の体力づくりのときは、ネックウォーマーや手袋を着用してもかまいません。

2 登下校時着用してよいもの

- ・ ジャンパー ・ 手袋 ・ ネックウォーマー
- ・ 長ズボン（動きやすいもののみ。ジーンズ、革製品類は不可）

3 ブレザーの下に着用してよい衣服

- ・トレーナー ・ベスト ・カーディガン

※ できるだけ紺か黒、グレーか白の目立たない色で、ブレザーの中に収まるようなサイズ。（フード付きパーカーは不可）

4 体育服の下に着用してよいアンダーウェア

透けて見えても目立たない色



5 携帯カイロの使用について

- 教室内の暖房施設も整っており、また安全上からも、学校への持ち込み・使用を禁止します。

※ ポケットに入れておくことで、ポケットに手を入れて行動することが多くなり、危険性が増すと考えられます。

6 乾燥対策について

- 乾燥する時期、唇や手が荒れる際は、リップクリームやハンドクリームを使用しても構いません。（使用する場合は、色や香りのないものに記名をして持たせてください）